

CASBEE® 建築物総合環境計画概要書 新築

大阪 みらい

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

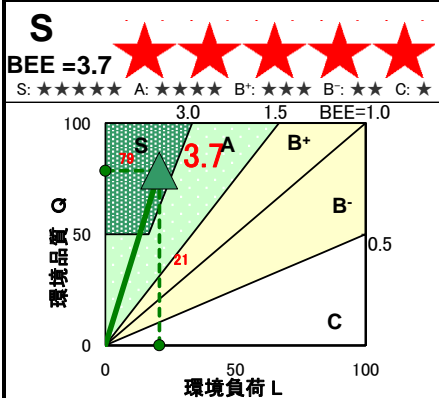
1-1 建物概要

建物名称	大阪第6地方合同庁舎(仮称)整備等事業(PFI)	
建設地	中央区大手前3丁目	
建築用途	庁舎	
建築主	PFI大阪第6合同庁舎(株)	
設計者	(株)日本設計	
敷地面積	6,453.54	m ²
建築面積	3,582.22	m ²
延床面積	48,789.41	m ²
構造/階数	RC造 / 地上14階、地下1階	
完了年(予定)	2022年3月	

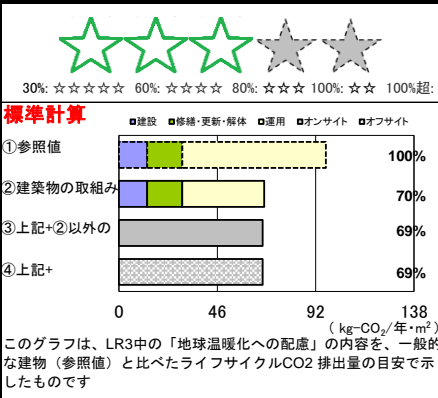
1-2 外観



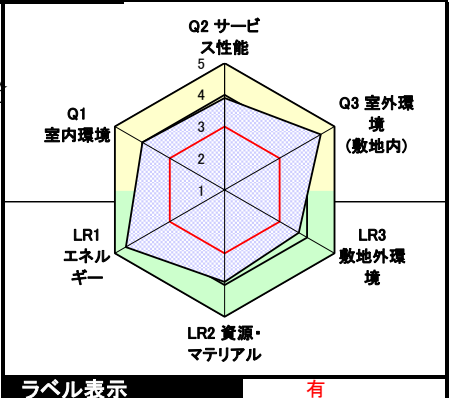
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



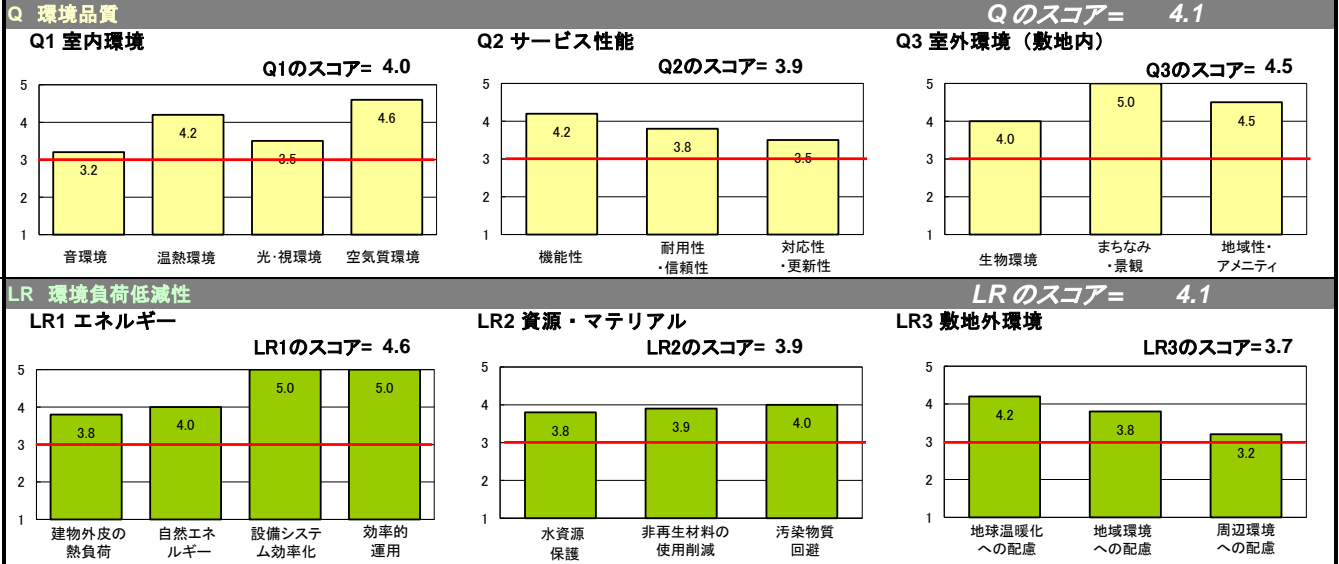
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

<p>総合</p> <p>災害応急対策活動の拠点となる本施設は、時代をリードする先進性と周辺の街並みに調和する端正さの中に、安心感、親しみやすさ、環境保全技術をデザインとして取り入れる。また国有財産の有効活用という観点から、化粧や飾りではなく機能と構造架構で建築をデザインする合理性を兼ね備えた外観とする。</p>	<p>その他</p> <p>建設現場においては、職員教育による環境意識の共有を行い、廃棄物の発生抑制の工夫、再資源化のための徹底分別や、再資源化ルートの確立を推進し、最終処分量できるだけゼロに近づけるゼロエミッション活動に努める。</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>ガラスは日射遮蔽型のLow-e複層ガラスを採用し熱負荷の低減を図っている。空調のゾーン別制御や加湿除湿機能による温熱環境への配慮、高い昼光率や照明の自動調光による光環境への配慮を行っている。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>空気質・光環境、十分なリフレッシュスペース等により執務者の快適性と機能性に配慮、免震装置導入や耐用年数の長い仕上材・ダクト等採用による耐用性向上、フレキシビリティある計画による対応性への配慮を行っている。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>十分な緑化面積の確保、テラスやギャラリー設置による地域の文化的発信拠点としての貢献。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>高効率設備採用やBEMSによるモニタリング等でエネルギー環境への配慮を行っている。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水器具採用や雨水利用による水資源への配慮、リサイクル材使用等による環境配慮を行っている。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LCCO₂削減に配慮。</p>

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = **3.7**

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	4.2 高効率設備の採用等により高い省エネ性能を実現
配慮事項	LCCO2削減に配慮	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		4.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	4.0 積極的な緑化計画、自生種の採用など
Q3 / 3 /3. 2/	敷地内温熱環境の向上	4.0 敷地周辺の風をシミュレーションで把握し、配置計画に配慮
LR3/ 2 /2. 2/	温熱環境悪化の改善	4.0 シミュレーション実施し風下地域へ配慮した計画
配慮事項	緑化や風環境の把握により敷地内外の温熱環境に配慮	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	3.8 断熱性に配慮している
配慮事項	適切な断熱計画で熱負荷抑制に配慮	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	5.0 高効率設備、BEMSの採用
配慮事項	高効率設備採用やBEMSによるモニタリング等でエネルギー環境への配慮を行っている。	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分 (品確法等級) -	(相当)	非住宅部分[BPI][BPI _m] 0.91
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEI _m] 0.59	住宅部分[BEI] -	非住宅部分[BEI][BEI _m] 0.59

